

あびらの未来を、みんなで考える。

新しい総合計画づくりが始まっています

「総合計画」は、町の未来のかたちを決める大切な計画です。

現在、平成29年度から始まった第2次総合計画に基づき、令和8年度までの10年間で、さまざまな取り組みが進められています。

この計画は、教育や子育て、人づくりやコミュニティづくり、経済や産業、健康や福祉、生活環境や生活基盤など、安平町に関わるあらゆる分野の「方向性」を示す「まちづくりの設計図」であり、将来の「ありたい姿」を出発点として定め、そこに向かうための道筋が段階的に描かれていきます。

本ページでは、計画に関するお知らせや令和9年度からスタートする「第3次総合計画」の策定へ向けた町の取り組みなどについてお知らせします。

前回のおさらい

令和8年の広報あびら3月号から引き続き、令和7年7月から8月にかけて実施した「安平町まちづくり町民アンケート」の結果についてお伝えしました。

アンケート最後の項目「自由記載欄」について、率直で幅広いご意見を合計158件いただき、内容の趣旨を踏まえながら共通する論点ごとに整理して「まちづくり全般」「子育て、教育」「商工、観光」に関するご意見を掲載しました。

今回のおはなし

引き続き「安平町まちづくり町民アンケート」の「自由記載欄」についてお知らせします。なお、広く町民の皆さんへお知らせするにあたり、配慮が必要な表現については調整を行っています。



結果の続き

【自由記載】

2035年頃の安平町の「望ましい姿」「目指すべき姿」「進むべき方向性」などについて、ご意見、ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

移住、定住

【政策的提案】 宅地の確保や住宅支援の充実

【個別事業提案】 住宅建設時の記念品を贈呈するなど、安平町らしい後押し

公共交通

【政策的提案】

- ・ 高齢化や免許返納の増加を踏まえた移動手段の確保（安心して暮らせる交通網）
- ・ 現在の支援策（タクシーなど）の継続、改善

【個別事業提案】

- ・ JRの利便性向上（列車本数の増便など）
- ・ 鶴の湯温泉への移動手段の確保
- ・ 札幌、千歳、苫小牧方面へのバス運行など、受診や通院の足の確保